

# レジャー・イン・ウォーターフロント

## ＝ブリスベン川の水辺＝

亜熱帯の豪州クイーンズランド州、ブリスベン市の南、川岸沿いに、今世紀南半球で初めてのEXPO'88がホットな話題を集めている。川上から川下へと水辺サイドから、幾つかのスケッチを試みたい。

### 《万博会場》

州の誇り、壮大なグレートバリア・リーフ（大珊瑚礁）の景観を満喫して近くのホテルに泊り、翌日、フェリーで南下し、河口から、万博会場に向う観光客が多い。リバー



変わりゆくブリスベンの風景、ビクトリア橋とサースイスト高速道路

ブリスベン川の河口から150km遡ると、4年前に完成したヴィベンホー・ダムがある。このダムは、洪水調節と発電を目的とした多目的ダムである。このダム湖周辺は風光明媚な場所で、市民のレクリエーションの地として、ピクニックやバーベキューを愉しむ人で賑わっている。

### 《河川管理》

ヴィベンホー・ダムの建設は、1893、1931、1974年の洪水による市内の大氾濫が、早期建設の引金となった。

ダムからの放流は、市議会の配水取り決めに従って行なわれている。その管理はブリスベン川委員会（委員長、レイシヤ・ハーベイ女史州議員）により運営されている。この委員会は、河川整備の諸計画、景観美化、環境保全、リバーフロント開発推進等、広汎な権限を持っている。

蛇行する河川と沿川の緑地と公園の自然の豊かさは素晴らしい。緑一杯の公園を貫いて川が流れ、自然の傍らに町があり、生活と憩いの空間が共存する羨望の都市である。汚水、排水の規制が厳しく、川の水量は豊富、水質はシルト分により濁っているが、魚、水生生物が多い。市内のビクトリア橋始め、七つの橋の景観は観光客の目を惹く。又、河口近くでは浚渫作業が活発である。

クルーズは八つの会社がサービスを競いフェリーポートは会場奥の河岸にある。因みにヘリポートは手前、ビクトリア橋際——。

日本館はエキスポ南駅の方が近いが、会場外周にはモノレールカーが走っていて便利。

会場水際中央少し手前に屋外リバーステージ、中央寄り水中には水上スキーステージがある。常時イベントアトラクションが人気を呼んでいる。

7月4日：米国、8日：日本、20日：中国、9月11日：豪首都、10月24日：国連の日など前評判が高い。

日本は万博の優等生。会場中央の日本館、企業館、庭園等が連日、2万人を超える来客に追われている。6月19日、日本館入場者が早くも百万人を越えた。

絨毯敷きの大ホールでは寝そべって「日本の暮しとレジャー」を見ている現地人も多い。

7月8日、日本の日は万博川開きだ。屋形舟を浮べ、江戸伝統の花火を夜空に打ちげ、イベントを盛り上げた。

川辺のレジャーはパプアニューギニアのカヌー、香港のジャンク、ヨット、モーターボート、ジェットスキーなど色彩りどり。





ブリスベン川の堤防上のクイーンズ美術館

## 位置図



空と緑と水辺の豊かな南国で繰り広げられる陽気なフェスティバルは、働き蜂日本人のレジャーへの契機となるだろうか。(ウォーターフロントと水辺のレジャーの仲良い握手を期待したいものである。)

(豪州クイーンズランド州政府、観光公社在日事務所、国際レジャー博覧会協会、現地派遣の当センター阿久津主任研究員から、諸資料のご提供、ご協力を頂き、お礼申し上げます。 編集担当)